

# 十勝地域のがん患者さん支援の 充実に向けたセミナー2024

～大空と大地の中でがんの在宅療養支援を考える～



断や治療の進歩により、病を患った方がこれまでの生活を続けながら通院で治療を継続したり、住み慣れた地域で過ごしたりできるようになってきました。希望に沿った療養生活を実現できる地域づくりのためには、患者さんやご家族を支える幅広い関連職種が連携して、幅広いニーズに応じて必要な支援が届くような体制をつくりあげていくことが重要です。

北海道十勝地域のがん患者さんを支える医療・保健・福祉・介護に関わる職種をはじめとするさまざまな関係者が一堂に会し、北海道十勝地域で暮らす患者さんにご家族の生活を支える視点で、よりよい情報提供と支援、連携体制づくりの実践に向けて話し合います。ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

開催日  
2024年  
9月24日火  
18:30~20:00

会場開催(道内関係者限定): 定員 50名  
帯広厚生病院 3階 Koseiホール  
オンライン開催: 定員 100名  
ウェビナー形式(ハイブリット方式)

## この研修会の目的

北海道十勝地域の患者支援に関わる関係者が、がん患者さんにご家族に信頼でき役に立つ情報を提供し、住み慣れた地域に必要な支援につなげるために、現状の課題を共有し改善に向けた取り組みにつなげることに。

## この研修会の到達目標

- #1. 北海道十勝地域のがん患者さんにご家族向けの支援の現状と課題を概説できる
- #2. がん患者さんのQOLの向上と支援の充実に向けた関わり事例を説明できる
- #3. がん患者さんの支援に向けた多職種チームアプローチの意義を説明できる



## プログラム

司会進行: 北海道医療ソーシャルワーカー協会 会長 木川幸一

### ① あいさつ

帯広市市民福祉部健康保険室健康推進課長

### ② 講演

- 導入: 十勝地域でがん患者さんにご家族を支えるために  
帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 教授 渡邊清高
- 帯広厚生病院におけるがん診療と在宅医療連携  
帯広厚生病院 副院長 大野耕一
- 在宅緩和ケア充実診療所における在宅がん診療  
さかい総合内科クリニック 院長 酒井俊
- 在宅見取りを支える在宅医療連携  
更別村国民健康保険診療所 所長 山田康介
- がんの治療中から終末期までを支える在宅医療の取り組み  
帯広協会病院 腫瘍内科 主任部長 杉山絢子

### ③ ディスカッション

- グループワーク
- ① グループワークの進め方(渡邊清高)
- ② グループワーク  
(会場参加者限定、オンライン参加者は待機時間です)
- ③ グループ発表
- QAセッションとディスカッション

### ④ まとめ・閉会あいさつ

- 帯広厚生病院 副院長 大野耕一



主催: 帯広厚生病院、さかい総合内科クリニック、更別村国民健康保険診療所、帯広協会病院、北海道がんセンター(北海道がん診療連携協議会相談・情報部会事務局)、北海道保健福祉部、帯広市、北海道医療ソーシャルワーカー協会がん相談専門部会  
共催: がん患者のための多職種チームケアと地域医療連携を推進するプロジェクト  
後援: 帯広市医師会、十勝医師会、日本がんサポーターズ協会、中外製薬株式会社  
お問い合わせ: 北海道がんセンターがん相談支援センター  
電話: 011-811-9118 FAX: 011-824-2706 担当: 金澤、榊野、木川  
メールアドレス: 100-mb05gas1@mail.hosp.go.jp  
この研修会は、日本癌治療学会/ファイザーの医学教育助成金「がん患者のためのチーム医療・地域医療連携の推進に対する取り組み」の協力のもと開催します。

## 参加申し込み

会場・オンライン(ZOOMウェビナー)

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_cCuaMlnMRK6tmiunPdqi9w](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_cCuaMlnMRK6tmiunPdqi9w)

対象: 医療・保健・福祉・介護・行政従事者、患者さんの療養支援に関わっている方

参加費: 無料

9月17日(火)までに名前、所属、メールアドレスを登録ください。二次元コードからスマートフォンで申込みいただけます。

いずれも下記フォームからお申し込みください。

